

第5回 米作りの大変さがわかったよ！

稲刈り・脱穀体験

月 日：令和6年10月29日（火）

場 所：三重大学附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設農場
（三重県津市）

参加者：三重県津市立 大里小学校 5年生 32 名

6月7日に田植えをした田んぼで、5年生の児童32人が稲刈り・脱穀体験をしました。

三重大学の先生から稲刈りするときの鎌の使い方や稲の持ち方、稲刈りの手順、刈った稲の束ね方などの見本を見せていただきました。



（三重大学の先生のお話）

手作業で行う稲刈りは、鎌で手を傷つけないように気を付けてください。また、鎌は地面と平行にまっすぐ動かしてください。

機械で行うよりも大変で、長時間かけて行う必要があります。



昔ながらの道具による脱穀体験

（子どもたちの声）

- ・ 稲を実際に刈ることができて楽しかった。
- ・ 脱穀機を体験できて楽しかった。
- ・ 米作りの大変さが身にしみてわかった。
- ・ コンバインで収穫しているところを見られてよかった。
- ・ コンバインの操作をわかりやすく教えてくれた。



代表の7名の児童がコンバインに乗せてもらって運転を行い、稲刈りをさせていただきました。

～先生の感想～

子どもたちの稲を刈る株数を多くしていただき、楽しく活動を行うことができました。稲を刈った後の脱穀の作業も体験することができ、米作りの学習に役立てることができました。（5年生担任）

